

●三鷹ネットワーク大学 プレ講演  
天文学入門講座 ～最新天文学への招待～ 第2回

## 天の川の地図をつくる

— 銀河系構造の謎に迫るVERA —

本間希樹 (VERA観測所)

三鷹ネットワーク大学の天文学入門講座 (3回シリーズ) の第2回目をこのたび担当させていただき、「天の川の地図をつくる～銀河系構造の謎に迫るVERA (ベラ)」というタイトルで天の川とVERAの話を中心に講演させていただきました。「三鷹ネットワーク大学」は、三鷹近隣の14の教育研究機関が参加した「新しい地域の大学」をめざした三鷹市のプロジェクトだそうで、平成17年10月の本開校を目指して現在活動中とのこと。今回は本開校前のプレ開校講座ということで、3回の天文学入門講座 (2005年6月8日、15日、22日に開催) を渡部潤一さん、私、柏川伸成さんの3人で担当しました。

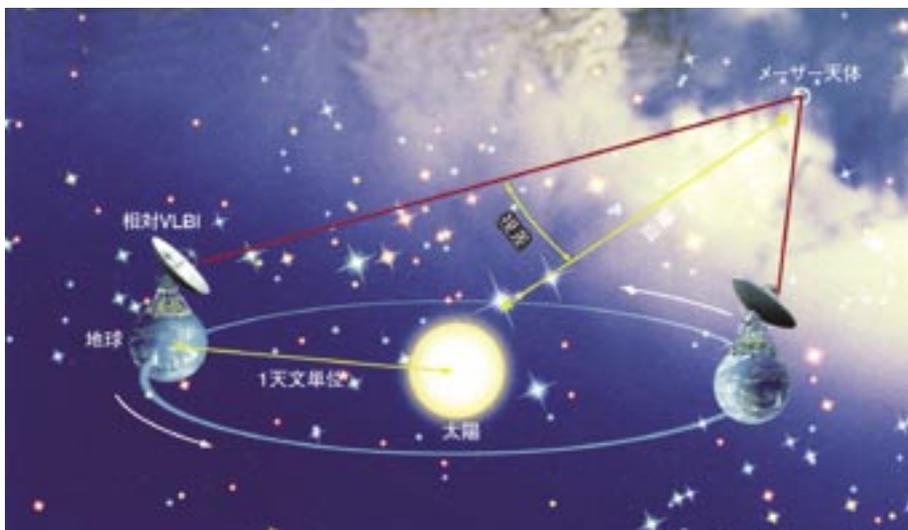
参加者は総勢100名に近く、会場である三鷹産業プラザのホールは熱気にあふれていました。講演は、前後半の2部にわけ、まず前半で天の川銀河の話をし、直径10万光年の天の川銀河が如何に大きいかということを紹介しました。また、後半は天の川を測量するプロジェクトであるVERAの紹介を行い、広大な天の川を直接に3次元測量することの難しさ、その達成に必要な新技術、そして現在のプロジェクトの進行状況などを話しました。その際、前後半終了後にそれぞれ質問の時間をとったのですが、皆さん大変熱心で、15を超える質問が矢継ぎ早に寄せられ、中には専門的なものも含まれており、すべてに答えるのに一苦労でした (実際、質問時間が長くなったために、予定されていた1時間30分の講演時間をやや超過

してしまいました)。それもそのはず、この講演の参加者たちは、6月8日の夜、サッカーのワールドカップ・ドイツ大会出場をかけた日本対北朝鮮戦と同時刻に開催された本シリーズの第1回目にも全員出席したという、筋金入りの(?)天文好きな方たちです。ちなみに私の場合は、ワールドカップか天文学か?、という同じ選択を迫られたら、「もちろん天文学!」といたいところですが、間違いなくワールドカップになります (笑)。

……ということで、プレ開校でもこれだけ熱心な方が100人も集まってくるのですから、今後ネットワーク大学が本開校した暁にはどのような展開になるのか楽しみです。我々にとっても、地元三鷹市を始めとする近隣の天文好きな方々に、日頃の我々の研究を理解していただく良い機会でもありますし、このような企画が今後も続き、ますます発展していくことを期待しています。



▲VERAをテーマにして講義をする筆者。



◀VERAの概念図。地球軌道の直径を基線にした巨大な三角測量によって天の川を測量します (イラスト/加賀谷穰)。